

<自主的努力項目記入書式>

提携先	株式会社マルモ青木味噌醤油醸造場	記入日	2009/10/26
登録消費材名	米こうじ、仕込みそ、信州淡色こうじみそ、料理用強風白甘味噌こし500g、福豆節分用、甘酒、信州こうじみそ国産天然100%、信州田舎みそこし500g、信州田舎みそこうじ1kg、信州田舎みそこし1kg、万能うまみそ、麦みそ		

**I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など**

原料大豆の国産化と産地品種の特定を図ってきましたが、本年度は生活クラブの提携産地である北海道のJA小清水を訪問して新たに国産大豆の契約をしました。  
また原料米は国産に留まらず、生活クラブ提携生産地である遊佐（JA庄内みどり）並びにJA上伊那の米を使用することとなりました。

**II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)**

原料大豆、米ともに産地提携を大きく進めたと思います。ただし、今後の継続性が課題です。大豆は2年連続で豊作だった為、市場価格が契約価格と大きくずれて安価となり、消費材の価格競争力が低下しています。大豆については播種前契約が数量のみのため、金額の契約も可能にしたいと考えます。遊佐では飼料米の作付けが増えている為、大豆の作付面積が減ってきました。  
地域連携のひとつとして、地元のJA長野から米を購入するきっかけを作っています。

**III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標**

大豆の産地提携をさらに強固なものにしたいと考え、播種前の数量並びに価格の契約を可能にするように努力します。大豆の味噌用の適正品種を探し、同時に国産天然醸造味噌の品質安定と美味しさを探求していきたいと思います。  
新たに地域連携、農商工連携として、地元であるJA長野と加工用米の地域流通契約をしたいと考えています。またそれ以外の長野県産米のルート作りを進めます。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	株式会社マルモ青木味噌醤油醸造場	記入日	2009. 9. 28
-----	------------------	-----	-------------

**I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など**

(製造部門)

- ・ 細分化したチェック方法の導入による5S活動の推進
- ・ 社内改善活動の実施

**II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)**

(製造部門)

- ・ ISO 22000 認証取得や新工場での作業を通じて、以前より品質に対して作業者一人一人の意識が向上していると思います。

**III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標**

(製造部門)

- ・ 5S活動が作業者全員の日々の作業に定着する様に進めていきたいと思っています。
- ・ 小さなことでも良いので、作業者が自ら不具合や問題点に気づき、改善を行なうしくみづくりを進めていきたいと思っています。それにより、生産性、品質性の向上につながると思っています。

## <自主的努力項目記入書式>

提携先	株式会社マルモ青木味噌醤油醸造場	記入日	2009.9.15
-----	------------------	-----	-----------

### I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

(自主管理担当)

- ・ ISOの内部監査に相当する「安全パトロール」を月一回実施し、安全面、5S面での改善サイクルを推進しました。
- ・ 週1回の5Sミーティングで「衛生管理」や「他社のクレーム事例」「生活クラブについて」などを取り上げ、社員教育を実施しました。

### II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

(自主管理担当)

- ・ 新工場への移設に伴い衛生管理マニュアルや日報等の改訂や追加を行うと共に、みその出荷検査を調整時とあわせて充填前にも行う体制にしました。
- ・ みそ製造技術者養成講座や社外講習会の内容を社員へ報告し、情報の共有化に努めました。
- ・ 新たに社員やパートが増えたこともあり、HACCPやISO、衛生管理についての社員教育は繰り返し実施していきます。

### III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

(自主管理担当)

- ・ ISO22000の概念を踏まえ、第三者機関に頼らない当社独自の食品安全のしくみ作りをすすめていきたいと思います。
- ・ 工場内のマニュアルを目で見てわかりやすいものにしていくことで、社員のレベルの統一化をすすめていきたいと思います。